

## 長期保全計画に基づく平成 29 年度上期設備保全の実施状況

### 1. 平成29年度の主な設備保全実施項目

平成 29 年度に行った主な設備保全の項目と内容は、表 1 のとおりである。

コンデンサー解体セル内の電動機、インバーター制御装置の更新、NS 回収装置電気ボイラーの水缶の SUS 化、IPA 脱水装置蒸気ドレン回収ラインの交換工事、水熱分解設備においては、No.1 底部隔壁の設置、No. 2, 3 処理液再生熱交換器の全更新等を実施した。平成 29 年度分に予定した設備保全実施項目は、上期に全て終了している。

別紙 1 に平成 29 年度の主な設備保全実施項目を添付する。

**表 1 平成29年度の主な設備保全実施項目**

設 備 名	実施時期	設 備 保 全 の 内 容
① 解体分別設備	H29 年 5 月 ～6 月	部品劣化が進行したコンデンサー解体セル内電動機 3 2 台中 2 1 台、インバーター制御装置 5 5 台中 3 6 台の更新を定期点検にて予定通り完了した。
② 排気・洗浄設備	H29 年 5 月 ～6 月	腐食劣化対策として NS 回収装置電気ボイラーの水缶 5 缶中 SUS 化未実施の 3 缶及び IPA 脱水装置蒸気ドレン回収配管 8 ライン中未実施の 6 ラインについて交換、昨年度実施の水缶交換 2 缶、ドレン回収配管 2 ラインをあわせると水缶 5 缶、ドレン回収配管 8 ラインの全ての交換が終了した。
③ 水熱分解設備	H29 年 2 月 ～7 月	今年度は減肉が進み検査できない部位もあることから、処理液再生熱交換器 (No. 2, No. 3 系統) を全更新した。
④ ”	H29 年 5 月 ～6 月	老朽化進行のため、自動弁・手動弁の内部リーク及び外部滲みを防ぐため部品交換 (7 2 台) および点検整備を実施した。
⑤ ”	H29 年 5 月 ～6 月	反応器底部の点検補修は、腐食減肉部の補修を実施した。No. 1 系は新規に下部隔壁の制作設置をし、No. 2 系 No. 3 系については下部隔壁を再設置した。3 系統ともに加熱給水ラインのパージができるように施工済み。
⑥ 分析計測設備	H29 年 5 月 ～6 月	信頼性を必要とする重要機器の劣化対策として排気モニタリング装置及び溶剤サンプリング装置を更新した。 排気モニタリング装置については、更新予定 2 台に対して、今年度の予定の 1 台を定期点検中更新し、6 月 16 日から稼動中。